

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html>)

マイライブラリー: 0311

(注)本稿は 2014 年 4 月 29 日から 5 月 16 日まで 6 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2014.5.17

前田 高行

MENA(中東北アフリカ)の IT ネットワーク整備指数(2014年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その17)

目次	頁
1. 「The Networked Readiness Index」について	2
2. 2014年の順位	3
3. 分野別に見る各国の状況	
(1)Political and regulatory environment(政治・制度環境)	4
(2)Business & innovation environment (ビジネス及びイノベーション環境)	4
(3)Infrastructure & digital content (IT インフラ及びデジタル・コンテンツ)	4
(4)Affordability (IT 機器・ソフト入手の難易度)	4
(5)Skills (IT 技術の習熟度)	5
(6)Individual usage (個人の利用状況)	5
(7)Business usage (ビジネス部門の利用状況)	5
(8)Government usage (政府部門の利用状況)	5
(9)Economic impact (経済的インパクト)	6
(10)Social impact (社会的インパクト)	6
4. UAE、サウジアラビア、トルコ、イスラエル4カ国と日米の比較(レーダーチャート)	6
5. 主要国のランクの推移(2010年～2014年)の比較	8

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の19の国と1機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE

(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第17回のランキングは、「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が毎年発表する「The Global Information Technology Report」(*)の中から「The Networked Readiness Index 2014」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* ホームページ:<http://www.weforum.org/reports/global-information-technology-report-2014/>

1. 「The Networked Readiness Index」について

「The Networked Readiness Index」(IT ネットワーク整備指数)は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が作成したものである。WEF では毎年「The Global Information Technology Report」を発表しており、その中で IT の整備状況に関する各国の競争力を Index(指数)としてランク付けしている。今回の 2014 年レポートでは世界148カ国がランク付けの対象となっている。

Index は(1)Environment (IT ネットワーク環境)、(2)Readiness (IT ネットワーク達成度)、(3)Usage (IT ネットワーク利用状況)及び(4)Impact (IT ネットワークのインパクト)の四つのサブ分野で構成され、またそれぞれのサブ分野ごとに Pillar(柱)と呼ばれる合計10個の評価項目がある。10項目について各国毎に評価し、それらを総合した指数(NRI)により148カ国がランク付けされている。

サブ分野(Sub Index)とそれぞれの評価項目(Pillar)

Environment (IT ネットワーク環境)

- (1)Political and regulatory environment(政治・制度環境)
- (2)Business & innovation environment (ビジネス及びイノベーション環境)

Readiness (IT ネットワーク達成度)

- (3)Infrastructure & digital content (IT インフラ及びデジタル・コンテンツ)
- (4)Affordability (IT 機器・ソフト入手の難易度)
- (5)Skills (IT 技術の習熟度)

Usage (IT ネットワーク利用状況)

- (6)Individual usage (個人の利用状況)

(7)Business usage (ビジネス部門の利用状況)

(8)Government usage (政府部門の利用状況)

Impact (IT ネットワークのインパクト)

(9)Economic impact (経済的インパクト)

(10)Social impact (社会的インパクト)

(トップのイスラエルとそれに続く GCC 諸国！)

2. 2014年の順位(末尾表 17-T02 参照)

今年度のレポートでランク付けの対象となった国の数は148カ国であるが、そのうち MENA は17カ国である。昨年は16カ国であったがチュニジアが2年ぶりでランクに復帰した。MENA 19カ国のうちランク付けされた国とされていない国は下記の通りである。

ランク付けされた国(17カ国):

イスラエル、カタール、UAE、バハレーン、サウジアラビア、オマーン、ヨルダン、トルコ、クウェイト、チュニジア、エジプト、レバノン、モロッコ、イラン、アルジェリア、リビア、イエメン

ランク付けされていない国・機関(2カ国・1機関):

シリア、イラク、パレスチナ自治政府

MENA 諸国の中で IT ネットワーク整備指数が最も高いのはイスラエルであり、同国の世界ランクは昨年同様15位である。これに続く MENA 第2位から第4位まではカタール(世界23位)、UAE(同24位)及びバハレーン(同29位)が世界20位台に並んでいる。これに続いてサウジアラビア(同32位)、オマーン(同40位)及びヨルダン(同44位)が並んでおり、これら MENA 上位7カ国が世界の50位以内である。MENA 8位以下はトルコ(世界51位)、クウェイト(同72位)、チュニジア(同87位)、エジプト(同91位)、レバノン(同97位)、モロッコ(同99位)までが世界100位以内である。世界100位以下はイラン(104位)、アルジェリア(129位)、リビア(138位)、イエメン(140位)と続いている。

MENA 上位6カ国のうちイスラエルを除く5カ国(カタール、UAE、バハレーン、サウジアラビア及びオマーン)はいずれも GCC 諸国である。GCC にはこのほかクウェイトがあるが同国は世界72位であり GCC の中では評価が極めて低い。クウェイトは国土も人口もさほど大きくなく、それでいて産油国として財政が豊かであるにも関わらず同じ条件の UAE やカタールに比べて IT ネットワークの整備が遅れていると判定されたのは大きな問題をはらんでいると言えそうである。

なお MENA 17カ国の世界平均順位は71位であり全体としては世界平均よりほんの少し上位にある。因みに日本は世界16位でありイスラエルより1ランク低いが、カタールなど GCC 諸国よりは高い。また米国は世界7位、中国は世界62位である。中国の順位は MENA 諸国の中ではトルコとクウェイトの中間に位置している。因みに世界1位はフィンランドである。

3. 分野別に見る各国の状況(末尾表 17-T02 参照)

IT ネットワーク整備指数を構成する10のサブ指数(上記1参照)について、MENA 諸国の概要を見ると以下の通りである。

(世界最下位グループにひしめくイエメン、レバノン、リビア、アルジェリア！)

(1) Political and regulatory environment(政治・制度環境)

政治・制度環境分野では総合 MENA2位のカタールがトップで世界順位は14位である。これに続いて UAE が世界24位につけている。そしてイスラエル(同28位)、サウジアラビア(同31位)、オマーン(同32位)が30位前後にひしめいている。一方、アルジェリア(140位)、リビア(141位)、レバノン(142位)イエメン(143位)の4カ国は全世界148カ国の中で最下位グループにひしめいている。MENA17カ国の世界平均順位は72位。

(参考:日本16位、米国22位、中国56位)

(クウェイトを除き GCC 各国は世界の上位に！)

(2) Business & innovation environment(ビジネス及びイノベーション環境)

ビジネス及びイノベーション環境の MENAトップは UAE で、同国の世界順位は13位である。UAE に続いてイスラエル(世界14位)、カタール(同17位)が世界20位以内であり、この分野では MENA は世界的にレベルが高い。サウジアラビア(同23位)、バハレーン(同27位)、オマーン(同36位)及びトルコ(同38位)も日本の世界順位40位より高い。レバノンは総合順位世界97位であるが、ここでは48位で世界の上位グループに入っている。17カ国の世界平均順位は62位である。

(参考:日本40位、米国7位、中国115位)

(見劣りするエジプト、イラン！)

(3) Infrastructure & digital content(IT インフラ及びデジタル・コンテンツ)

この分野の MENA1位はイスラエルで世界順位29位。イスラエルに続いて UAE、カタール、サウジアラビア及びバハレーンが世界順位30位台に並んでいる。地域の大国であるエジプト及びイランの世界順位は99位と103位であり両国の IT インフラとデジタル・コンテンツはかなり見劣りしている。MENA17カ国の世界平均順位は68位。

(参考:日本21位、米国4位、中国86位)

(世界順位が意外に高いトルコ、エジプト、低いカタール！)

(4) Affordability(IT 機器・ソフト入手の難易度)

IT 機器・ソフト入手の難易度のランクは総合ランクと大きく異なっており、MENA1位はヨルダン、2位エジプト、3位トルコである。3カ国の世界順位はそれぞれ6位、16位、17位で世界のトップ水準である。この指標では日本は世界54位であり、10項目の中では世界順位が最も低い。IT 機器・ソフトが高価であることが日本の国際順位を低めていると考えられる。総合順位では MENA2位と3位であるカタール及び UAE もこの指標の世界順位はそれぞれ100位、85位であり日本と同様の傾向がみられる。MENA17カ国の世界平均順位は64位。

(参考:日本54位、米国21位、中国60位)

(ずば抜けて高いカタール！)

(5) Skills (IT 技術の習熟度)

IT 技術の習熟度が MENA で最も高いのはカタールで、同国の世界順位は5位である。MENA で二番目に高いのは UAE であるが、その世界順位は33位であり、カタールとの格差が大きい。UAE に続くのはヨルダン(世界38位)、イスラエル(同39位)、レバノン(同45位)で、以上5カ国が世界順位50位以内に入っている。MENA17カ国の世界平均順位は68位。

(参考:日本29位、米国32位、中国59位)

(一人当たり GDP の高い国は個人の IT 利用状況も高い！)

(6) Individual usage (個人の利用状況)

個人の利用状況について MENA のトップはバハレーンであり、同国の世界順位は14位である。この順位は日本(世界順位16位)、米国(同18位)のいずれの国より高い。バハレーンに続くのはカタール(同21位)、イスラエル(同26位)、UAE(同29位)、クウェイト(同38位)、サウジアラビア(同44位)で以上が世界50位以内である。一人当たりの GDP の高さで個人の利用度の高さが相関していることがわかる。MENA17カ国の世界平均順位は60位。

(参考:日本16位、米国18位、中国80位)

(MENA でダントツのイスラエル！)

(7) Business usage (ビジネス部門の利用状況)

MENA17カ国の中でビジネスにおける利用状況が最も高いのはイスラエルであり、同国は世界順位も第8位のトップクラスである。MENA2位はカタールであるが世界順位は26位でイスラエルとかなり隔たりがある。カタールとわずかな差で UAE(世界29位)及びサウジアラビア(同34位)が続き、さらに少し差が開いてトルコ(同46位)、ヨルダン(同47位)、バハレーン(同49位)、オマーン(同57位)の順である。MENA17カ国の世界平均順位は78位。

(参考:日本4位、米国9位、中国44位)

(UAE、カタール、バハレーン、サウジアラビアの湾岸4カ国が世界のトップ・テンに！)

(8) Government usage (政府部門の利用状況)

政府部門の IT 利用が MENA で最も進んでいる国は UAE で、同国は世界2位である(因みに1位はシンガポール)。UAE に続くカタール、バハレーン、サウジアラビアの各国も世界ランクが4位、5位及び6位である。この分野では MENA、特に湾岸産油国は世界のトップレベルであり、米国(世界11位)を上回っている。またイスラエルは世界19位、オマーンは世界20位で、日本(世界22位)をしのいでいる。

しかしオマーンに続く MENA 諸国はヨルダン世界52位、トルコ同60位で世界148カ国の中位である。また世界順位100位以下の国もクウェイト、レバノンなど6カ国があり MENA17カ国の中では上下の格差が大きい。MENA17カ国の世界平均順位は67位。

(参考:日本22位、米国11位、中国38位)

(ここでもイスラエルがダントツ！)

(9) Economic impact (経済的インパクト)

経済的インパクトが MENA で最も強いと判定されたのはイスラエルで世界順位は4位である。これに続くのは UAE であるが、同国の世界順位は27位でイスラエルと大きな差がある。UAE に次いでカタールが世界32位であり、以下サウジアラビア(世界37位)、ヨルダン(同44位)までの5カ国が世界50位以内である。MENA17カ国の世界平均順位は76位。

(参考:日本11位、米国9位、中国81位)

(UAE とカタールは世界のベスト・テン！)

(10) Social impact (社会的インパクト)

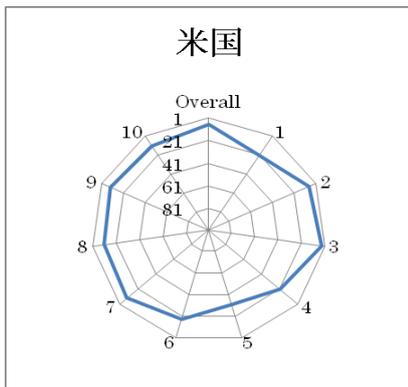
社会的インパクトの指標では UAE(世界5位)及びカタール(同8位)が世界のベストテンに入っている。そのほかの国ではイスラエル(同14位)、バハレーン(同18位)が米国(同12位)とともに20位以内に入っている。因みに日本は23位でサウジアラビア(22位)に次ぐ順位であり、中国は44位でオマーン(世界33位)とヨルダン(同51位)の間である。MENA17カ国の世界平均順位は67位。

(参考:日本23位、米国12位、中国44位)

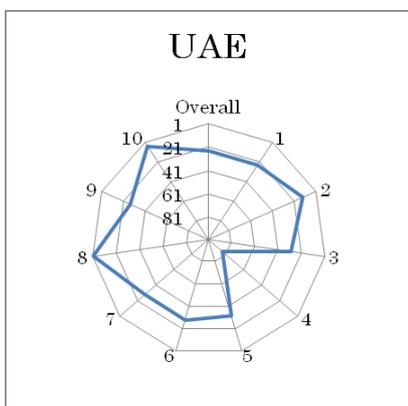
(高順位で均整の取れた米国とイスラエル。似通っている日本と UAE)

4. UAE、サウジアラビア、トルコ、イスラエル4カ国と日米の比較(レーダーチャート)

(参照http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/17-G02.pdf)

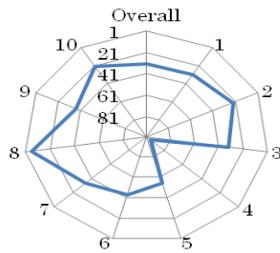


イスラエル(総合順位15位)、UAE(同24位)、サウジアラビア(同32位)及びトルコ(同51位)と日本、米国(同16位及び7位)の6カ国について分野別の順位をレーダーチャートとして比較すると以下の通りであった。なおレーダーチャートは最も外側が世界順位1位であり内側の中心は100位である。そして最上段の Overall が全体の世界順位であり、時計回りの1から10までは前項3の分野別順位に対応している。



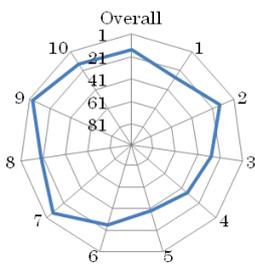
6カ国のチャート図の中では米国は円形が大きな広がりを見せている。これは全ての項目において高い順位を獲得していることを示している。イスラエルは殆どの項目の順位が米国よりも低く円が小型であるが、比較的バランスが取れた円形である。一方 UAE と日本は一部の項目で世界順位が高く全体的に円が外に広がっているものの、両国とも Affordability(IT 機器の購入のしやすさ、項目4)が極端に低いびつな円形になっている。サウジアラビアは形状が UAE に似通っているが、全ての項目の世界順位が UAE よりも低く、円形が小さいのが特徴である。これら5カ国に比べトルコは Affordability(IT 機器の購入のしやすさ、項目4)を除き世界順位はいずれも40~80位前後であり、円の面積が最も小さく、同国の IT ネットワーク整備が不十分であることを示している。

サウジアラビア



国別に見ると、UAE は全体のうち7項目が世界30位以上である。UAE の場合は Government Usage(政府部門の利用状況、項目 No. 8)及び Social impacts(社会的インパクト、項目10)の二項目では米国を上回っているが、その他は米国よりもかなり劣っており、特に Affordability(購入のしやすさ、項目 No.4)は世界85位であり、比較した6カ国の中では日本(54位)に次いで順位が低い。サウジアラビアの場合は Government Usage(政府部門の利用状況、項目 No.8)が世界6位であるが、Affordability(購入のしやすさ、項目 No.4)や Economic impact(経済的インパクト、項目 No.9)などが低い。同国では政府部門に比べ企業或いは個人の利用状況が低いとされている。

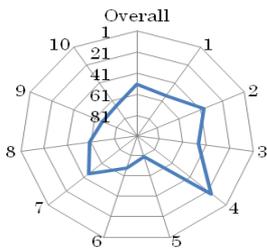
イスラエル



イスラエルは企業のネットワーク利用状況(項目 No.7)、経済的インパクト(項目 No.9)及び社会的インパクト(項目 No.10)のランクが高く米国と肩を並べているが、Infrastructure & digital content(項目 No.3)、Affordability(購入しやすさ、項目 No.4)、Skills(IT 技術習熟度、項目 No.5)が世界30位前後にとどまっている。

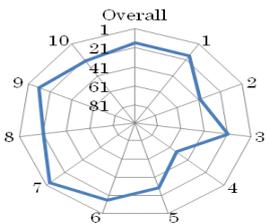
トルコは円形がいびつでしかも小さい。即ち同国はいずれの項目でも国際順位が低く、また項目によって順位に大きな差があることが分かる。特に Affordability(購入のしやすさ、項目 No.4)は世界17位であり比較した6カ国の中では最も高いがその他の項目はいずれも世界40位以下であり、Skills(IT 技術の習熟度、項目5)の世界順位が他の項目に比べて著しく低い。

トルコ



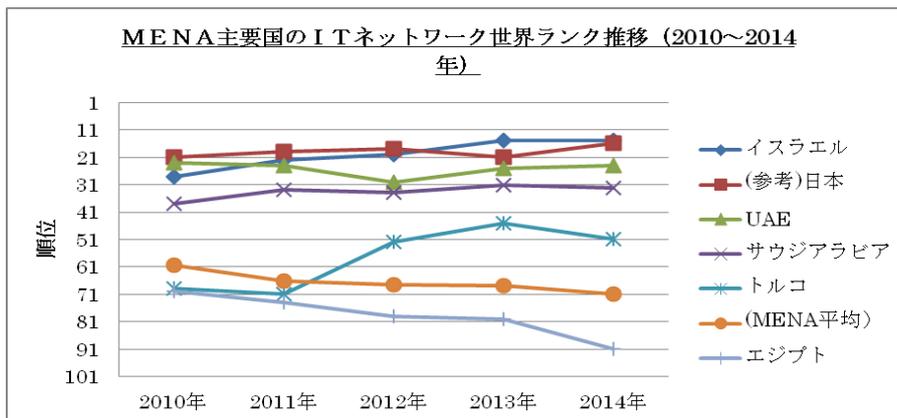
なお日本は総合順位16位であるが、項目によって世界順位に大きなばらつきがある。即ちビジネスの利用状況(項目 No.7)は世界4位のトップレベルにあるが、ビジネス・イノベーション環境(項目 No.2)、Skills(IT 技術の習熟度、項目5)が他の項目に比べて低く、特に Affordability(購入のしやすさ、項目 No.4)は54位にとどまっている。全体としてITネットワークの整備度合いはバランスに欠けているようである。

日本



(下げ止まらないエジプト！)

5. 主要国のランクの推移(2010年～2014年)の比較



イスラエル、UAE、サウジアラビア、トルコ、エジプトの5カ国及びMENA平均と日本の2010年から2014年までの5年間の世界ランクの推移を比較する。

ここ数年顕著に順位がアップしてきたのがトルコであり2

011年の71位から52位(12年)→45位(13年)へと急上昇している(但し2014年は少し下落)。同国は高い経済成長率を達成しており産業発展のハード面とITネットワークのソフト面の改善が相乗効果を発揮しているようである。

これに対してエジプトは国内政治の低迷或いは混乱がITネットワークの整備に悪影響を及ぼしている。同国の過去5年間の順位は70位(10年)→74位(11年)→79位(12年)→80位(13年)→91位(14年)と下がり続けかつては世界平均よりやや上であったものが最近では世界の低位グループに低迷している。MENA平均の世界順位も60位(10年)→66位(11年)→67位(12年)→68位(13年)→71位(14年)と下落傾向が止まらない。

サウジアラビアの世界順位は過去5年間を通じて安定して30位台を維持しており、特にここ4年は30位台の前半に定着している。同じ湾岸産油国のUAEも23位(10年)→24位(11年)→30位(12年)→25位(13年)→24位(14年)とほぼ20位台で安定している。両国とも石油価格の高騰により歳入が大幅に増加、また政情も安定しているためITネットワークの整備が進んでいることをうかがわせる。

イスラエルと日本を比較すると、日本の過去5年間の推移は21位(10年)→19位(11年)→18位(12年)→21位(13年)→16位(14年)であり、イスラエルのそれは28位(10年)→22位(11年)→20位(12年)→15位(13年)→15位(14年)である。日本は20位前後を上下しているが、イスラエルは毎年順位を上げており日本を追い抜いて15位を維持している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

IT ネットワーク整備指数世界ランク(2014年)

国名	総合順位	Political and regulatory environment	Business & innovation environment	Infrastructure & digital content	Affordability	skills	Individual usage	Business usage	Government usage	Economic impacts	Social Impacts
イスラエル	15	28	14	29	35	39	26	8	19	4	14
カタール	23	14	17	31	100	5	21	26	4	32	8
UAE	24	24	13	30	85	33	29	29	2	27	5
バーレーン	29	48	27	39	25	58	14	49	5	63	18
サウジアラビア	32	31	23	33	96	55	44	34	6	37	22
オマーン	40	32	36	70	33	73	56	57	20	56	33
ヨルダン	44	44	41	88	6	38	67	47	52	44	51
トルコ	51	55	38	48	17	80	69	46	60	68	67
クウェイト	72	75	81	52	76	70	38	94	105	127	82
チュニジア	87	94	109	83	73	81	81	103	77	90	72
エジプト	91	115	117	99	16	120	71	112	113	59	65
レバノン	97	142	48	77	99	45	58	116	136	101	121
モロッコ	99	81	88	93	51	111	72	111	92	123	115
イラン	104	86	86	103	118	85	111	129	91	114	105
アルジェリア	129	140	145	127	42	102	104	147	134	133	140
リビア	138	141	116	84	145	96	92	144	148	145	148
イエメン	140	143	138	129	83	138	131	131	145	140	145
イラク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
パレスチナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シリア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(MENA 平均)	71	72	62	68	64	68	60	78	67	76	67
(参考)											
米国	7	22	7	4	21	32	18	9	11	9	12
日本	16	16	40	21	54	29	16	4	22	11	23
中国	62	56	115	86	60	59	80	44	38	81	44